

## 2年音楽 (MYP3 Arts:Music) 【音楽：1単位】

### Aims

The aims of MYP arts are to encourage and enable students to:

MYPの「芸術」のねらいは、生徒に以下のことを促して、修得させることです。

- ・ enjoy lifelong engagement with the arts  
生涯にわたって芸術とのかかわりを楽しむ
- ・ explore the arts across time, cultures and contexts  
さまざまな時代、文化、文脈にわたって芸術を探究する
- ・ understand the relationship between art and its contexts  
芸術とその文脈の関係性を理解する
- ・ develop the skills necessary to create and to perform art  
芸術の創作や実演に必要なスキルを培う
- ・ express ideas creatively  
アイデアを創造的に表現する
- ・ reflect on their own development as young artists  
若い芸術家としての自分の成長を振り返る

### Objectives and Assessment Criteria 目標および評価規準

At the end of year 3, students should be able to:

MYP3の修了時点で、生徒は以下のことを習得している必要があります。

MYP 評価観点	
Criterion A: investigating 評価規準 A: 調査	i. investigate a movement or genre in their chosen arts discipline, related to the statement of inquiry 探究テーマに関連して、選択した芸術分野のムーブメントやジャンルを調査する
	ii. analyse an artwork or performance from the chosen movement or genre 選択したムーブメントやジャンルの芸術作品またはパフォーマンスを分析する
Criterion B: Developing 評価規準 B: 発展	i. practically explore ideas to inform development of a final artwork or performance 実践的にアイデアを探究し、芸術作品やパフォーマンスの完成に向けた取り組みに活かす
	ii. present a clear artistic intention for the final artwork or performance in line with the statement of inquiry 最終的な芸術作品やパフォーマンスについて、芸術的意図を探究テーマに沿って明確に提示する
Criterion C: Creating/ Performing 評価規準 C: 創作・実演	i. create or perform an artwork 芸術作品を創作または実演する
Criterion D: Evaluating 評価規準 D: 評価	i. appraise their own artwork or performance 自分の芸術作品やパフォーマンスを評価する
	ii. reflect on their development as an artist 芸術家としての自分の成長を振り返る

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Arts guide」に基づいています。

Related concepts 関連概念（音楽の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

Audience 受け手	Boundaries 境界	Composition 構成	Expression 表現
Genre ジャンル	Innovation 革新	Interpretation 解釈	Narrative 物語
Play 劇・戯曲	Presentation プレゼンテーション	Role 役	Structure 構成

※目標と評価規準は MYP 芸術 3 のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題の MYP 評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. コミュニケーション 2. 個人的・文化的表現〔言語〕 3. コミュニケーション、情動、管理・調整、振り返り	A1 歌唱ア、イ、ウ A2 器楽ア、イ、ウ  教材 教育出版社「中学音楽2・3下」 ・花 教育出版社「中学器楽」 ・きらきら星 ・ふるさと	・「花」「ふるさと」※演奏発表【C】 《観点1》 ・演奏解説書【B】《観点2》 ・音楽プロセスジャーナル【D】《観点3》  二重唱（歌唱）、二重奏（アルトリコーダー）のアンサンブルの楽曲演奏に取り組み、音楽を通じたコミュニケーションを体験する。楽曲の良さや美しさを形作っている音楽的要素の特徴を考えながら表現する。また、自分の演奏に関する音楽的意図を記述した演奏解説書を作成する。発表までの練習過程について実践的探究を示すと同時に、自身のパフォーマンスについて評価する。	1. ①知識・技能-C ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-D  2. A-3
後期 (10月～3月)	3	1. コミュニケーション 2. 個人的・文化的表現〔創造〕 3. 転移、創造的思考、管理・調整、振り返り	B1 鑑賞ア A3 創作ア、イ、ウ  教材 教育出版社「中学音楽2・3下」 ・言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう ・CMソングをつくろう 楽譜作成ソフトFlat	・形式や構成を生かした創作楽曲【C】 《観点1》 ・楽曲解説書【A】《観点2》 ・音楽プロセスジャーナル【D】《観点3》  音楽の構成や形式を理解し、反復・変化・対照を活用したCMソングを創作する。「北海道」をテーマにどのようなコンセプトで歌詞を生み出したのか、構成や形式をどのように工夫し、アイデアをこらして楽曲に活かしたのかを記述した楽曲解説書を作成する。発表までの創作過程について実践的探究を示すと同時に、自身の創作楽曲について評価する。	1. ①知識・技能-C ②思考・判断・表現-A ③主体的に学習に取り組む態度-D  2. B-9
	5	1. 美的感性 2. 空間的・時間的位置づけ〔時代〕 3. 批判的思考、メディアリテラシー、情報リテラシー、管理・調整	B2 鑑賞ア、イ、ウ  教材 教育出版社「中学音楽2・3下」 ・オペラ「アイーダ」 ・歌舞伎「勧進帳」	「オペラと歌舞伎から考える総合芸術の魅力」についての調査【B】《観点2》 ・「オペラと歌舞伎」のポスターセッション【A】《観点1、3》  オペラと歌舞伎を5つの芸術分野の視点から鑑賞し、音楽ともう一つの芸術分野を結びつけて「総合芸術の魅力」を論じるポスターセッションのためのデータを作成する。	1. ①知識・技能-B ②思考・判断・表現-A ③主体的に学習に取り組む態度-A  2. C-17